

2015年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	理工学部英語教室	身分	助教 A
氏名	輪湖 美帆		
NAME	Miho WAKO		

1. 研究課題

（和文）オスカー・ワイルド『サロメ』の研究

（英文）A Study of Oscar Wilde's *Salome*

2. 研究期間

3年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

【背景と目的】 19世紀英国の作家・劇作家であるオスカー・ワイルドによる戯曲『サロメ』は、1893年にフランス語で刊行されその翌年ワイルドの恋人アルフレッド・ダグラス卿の翻訳による英語版（ワイルドが大幅に修正を加えたとされる）が刊行された。英語版に付されたオーブリー・ビアズリーによる挿絵はあまりにも有名であろう。ダグラス卿の名はしかし献辞に触れられるにとどまっておろ、ビアズリーの挿絵に対してもワイルドは称賛しつつも不満も抱いていたようである。こうした状況から、『サロメ』初版の周辺を調査することで、ワイルドによる『サロメ』解釈が浮き彫りになるのではと考えた。

【研究計画】 まずは『サロメ』英語版初版本の調査を中心にその関連資料を読み、ワイルドによる『サロメ』解釈を探る基礎を固めることを目指した。その後、テキストの読解、ビアズリーとの関連や唯美主義との関係性にも注目することを計画した。

【内容と成果】 フランス語および英語版の初版本周辺を調査することで、英語版初版用に描かれたビアズリーの挿絵は修正を求められたり使用されなかったものもあったこと、しかし後年になって、初版で使用されなかった作品も収録されるようになったことなどが確認でき、視覚文化と文学、当時の出版文化の交差する場所として、同戯曲の重要性が再確認できた。今後成果としてまとめていく。

（英文）

I have focused on Oscar Wilde's *Salome* (the English translation of Wilde's play *Salomé*, which was originally written in French) as this text is an interesting example where the ideas of the writer, the illustrator and the contemporary publishing culture intersect. I intend to examine further Wilde's remarks regarding Aubrey Beardsley's illustrations and how the publisher asked Beardsley to make changes to (or declined to use) some of his original illustrations for the first English edition of *Salome*.